



たきざわ

えがお いっぱい たきざわ小

- わかるまで考える子
- 思いやりのある子
- 元気で活動する子

第 16 号

令和7年9月29日(月)

気持ちのよいあいさつを広げよう

毎月、「明るく楽しい滝小にしよう」と、児童会のあいさつ運動が展開されています。月の始めと中頃の2回、登校時に執行部の子どもたちがなかよし広場に立ち、元気なあいさつをするよう呼び掛けています。継続して取り組んでいるので、「元気なあいさつ」が滝小に広がってきていていいなと思っています。今月のあいさつ運動は、一関地区少年警察ボランティア協会、一関警察署生活安全課のみなさんによる「愛の一声運動」も一緒でした。いつもより人数が増え、ますます元気なあいさつが学校に響きました。

場面に応じたあいさつをすることは大切な文化であり、コミュニケーションの第一歩です。また、気持ちのよいあいさつは、相手に対して親しみやすさや誠実さを伝えるものです。さらに、明るい声であいさつすると、脳内にポジティブな感情をもたらす効果もあると言われています。これからも、学校でも家庭でも、気持ちのよいあいさつを広げていきたいですね。



校外学習に行ってきました

6年生は、総合的な学習の時間の学習で、「なぜ平泉が世界遺産に登録されたのか」ということについて学びました。26日(金)には、その世界遺産の中心である毛越寺や中尊寺などを見学するため、平泉に行ってきました。現地では、ガイドさんに案内していただき、奥州藤原氏の偉業や平泉文化について実際に見て学び、教室での学びを更に深めることができました。また、3年生は、24日(水)に、社会科の学習で、大東町の不二家乳業に行ってきました。見学を通して、食品づくりの工



程仕事の内容、生産の仕事がわたしたちの生活と密接に関わり合っていることが分かりました。実は、わたしたちが毎日給食で飲んでいる牛乳も、不二家乳業で生産したものです。

いつも 交通安全指導ありがとうございます



毎朝、学校坂下の横断歩道に立ち、子どもたちの安全を見守っている方がいます。渡辺一男さんです。「おはようございます。」と優しく声をかけながら、交通指導を行ってくださっており、わたしたちの学校にとって大切な存在です。また、このように、地域の方のご協力によって支えられていることに、大変感謝しています。いつも、本当にありがとうございます。



主体的に学び 理解を深める

25日(木)、研究授業が6年生で行われました。社会「日本の歴史」の「幕府の政治と人々の暮らし」という単元で、260年もの長い間続いた江戸幕府の政治の特色や出来事、その中での人々の暮らしについての学習です。子どもたちは、「どうしてかな？」と探求心をもって積極的に学習に取り組み、徳川家光が行った政策である「鎖国」について、その経緯や影響について個人のタブレットを使って調べたり、資料を基に考えたりしました。これまで学習した内容との関わりから、歴史上の事象のつながりについて理解することができました。

前に学習したことと関係ありそう...



ICT活用授業



26日(金)に、一関市教育研究所ICT部会の研究授業が本校で行われ、市内のICT部会に所属する先生方が来校しました。蘇武教諭によるICTを活用したモデル授業の提案ということで、2年生が、生活科「町のすてき 大はっ見」の学習を行いました。授業では、先日行った「町たんけん」で発見したことや思ったこと、みんなに伝えたいことなどをカードにまとめて表現するためにタブレットを活用しました。見学先で撮影した写真の中からお気に入りを選んだり、写真に文字を入れたり、工夫しながらカードを作成することができました。

PTA環境作業 ありがとうございました

秋のPTA環境整備が行われました。お忙しい中、朝早くからたくさんの保護者の皆さんにご協力いただき、校舎内の窓拭き、校庭東側斜面の草刈りを行うことができました。大変ありがとうございました。週明けの教室は、いつもより明るく感じられ、子どもたちも明るい気持ちで学習に向かうことができました。おうちの人と一緒に参加した子どもたちの姿も見え、感心しました。また、ご準備いただいたPTA役員の皆様も、ありがとうございました。

お知らせ 読書普及員の齋藤まどかさんが、出産と育児のため10月1日(水)から休暇に入ります。齋藤さんには、約2年半勤務していただきました。新しい読書普及員については、次号で紹介いたします。